

オフィス環境(インテリア空間)における フリーアドレス方式平面配置の 設計手法に関する研究

建築都市工学部
住居・インテリア学科
教授
福山 秀親



研究シーズの紹介

働き方に注目が集まっていますが、働く環境(空間)はどうでしょうか?

情報伝達技術(IOT)、情報制御技術(AI)により労働生産の方法が変化していますが、その環境(空間)は新しい技術を用いた働き方にフィットしているのでしょうか?

農場や工場と同様に、オフィスは生産のゴールを明確に感じ

る環境(空間)になっているのでしょうか?

オフィス環境(空間)を考えることで、働き方を考える、仕事を考える、組織を考える、そして、

「何のために働くのか」を明確にすることに繋げていきます。



空間設計技術

- オフィスにおける個人の生産性を上げ、チームの力を増大させます。
- 組織の目的を明確にし、リクルート・顧客の創造に繋がります。



期待される活用シーン

- 組織変更によるオフィス環境(空間)リノベーション
(例: 地方自治体)



- ・意識改革
- ・仕事の進めかた改革
- ・組織の目的の可視化



- リノベーションされたオフィス
(例: ユーザー)



- ・接客対応改革
- ・組織への印象改革
- ・顧客創造



その他の研究テーマ

商環境デザインに関する研究
非専用住居(生産を伴う住居)に関する研究